

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハーモメイト水溶剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	2006年04月13日
SDS 改訂日	2021年12月20日(04版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

環境有害性 水生環境有害性 短期（急性） 区分3

ラベル要素

絵表示（GHS JP） : 該当なし

注意喚起語（GHS JP） : 該当なし

危険有害性（GHS JP） : 水生生物に有害

注意書き（GHS JP）

安全対策 : 環境への放出を避けること。

廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 炭酸水素ナトリウムを有効成分とする農業用殺菌剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭酸水素ナトリウム	80	NaHCO ₃	(1)-164	なし(公表化学物質扱い)	144-55-8

《油脂、界面活性剤》

CAS No.	記載せず
含有量	20%
化審法	天然物及び既存化学物質
安衛法	天然物及び既存化学物質

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末消火剤 泡消火剤 乾燥砂 本品は不燃性である。
使ってはならない消火剤	: 酸性の消火剤。
火災危険性	: 燃焼によって有毒ガスを生成する。 二酸化硫黄。 二酸化炭素。
消火方法	: 消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。 移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
消火を行う者の保護	: 燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと、 風上から近づく。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置
-------	--

を行う。
十分な換気を確保する。
風上から近づく。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
粉塵を吸入しないこと。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項：排水溝や河川に流さない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法：漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

二次災害の防止策：特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：使用前にラベルをよく読むこと。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
作業所の十分な換気を確保する。
皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯すること。

接触回避：「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件：乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
食品、飲料、動物用の餌からは離して保管すること。
子供の手の届かないところに置くこと。

安全な容器包装材料：包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れること。

8. ばく露防止及び保護措置

厚生労働省

管理濃度：設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会)：設定されていない

年度：2020

ACGIH

許容濃度(ACGIH)：設定されていない

年度：2021

管理番号：N0-4792101

設備対策	： 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	： 防塵マスク
手の保護具	： 不浸透性手袋
眼の保護具	： ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	： 材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体
形状	： 粉末
色	： 類白色
臭い	： データなし
pH	： データなし
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： データなし
引火点	： 不燃性
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
可燃性	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対密度	： データなし
密度	： 0.56 g/ml (嵩密度)
相対ガス密度	： データなし
溶解度	： 水： 7分以内
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	： データなし
爆発限界 (vol %)	： データなし
動粘性率	： データなし
その他の性質	： 粒度：45 μ m以下 吸湿性：あり
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 情報なし。
化学的安定性	： 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	： 成分の炭酸ナトリウムは、酸と反応し炭酸ガスを発生する。
避けるべき条件	： 加熱により約60℃以上で炭酸ガスを発生し、炭酸ナトリウムを生じる。この分解は、水溶液では約60℃以上で起こる。
混触危険物質	： 情報なし。
危険有害な分解生成物	： 燃焼によって有毒ガスを生成する。一酸化炭素。二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	：	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	：	区分に該当しない(分類対象外)（気体） 分類できない（粉じん、ミスト）

ハーモメイト水溶剤	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg (♂♀)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (♂♀) (炭酸ナトリウム)

皮膚腐食性/皮膚刺激性	：	区分に該当しない 弱い刺激性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	区分に該当しない 弱い刺激性
呼吸器感作性	：	分類できない
皮膚感作性	：	分類できない 感作性なし(類似組成物より)
生殖細胞変異原性	：	分類できない
発がん性	：	分類できない
生殖毒性	：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	分類できない
誤えん有害性	：	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	：	水生生物に有害 下記データから、区分3とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	：	分類できない

ハーモメイト水溶剤	
LC50 - 魚 [1]	28 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	30 mg/l (48hr)

残留性・分解性

ハーモメイト水溶剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ハーモメイト水溶剤	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

ハーモメイト水溶剤	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
- オゾン層への影響 : モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
- その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
水を加えて希薄な水溶液とし、酸で中和させた後、多量の水で希釈して流す。多量の廃液を下水や河川に流してはならない。
- 汚染容器及び包装 : 容器は必要な洗浄を行ってから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報 : 非危険物
- 航空規制情報 : 非危険物
- 国連番号 : なし
- 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

- 海上規制情報 : 非危険物
- 航空規制情報 : 非危険物

- 特別な輸送上の注意 : 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

- その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 通知対象物質 非該当

	表示対象物質	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	:	非該当
農薬取締法	:	該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）			
中毒110番 一般市民専用電話	(大 阪)	072-727-2499 (情報料無料)	365日24時間対応
	(つくば)	029-852-9999 (情報料無料)	365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	(大 阪)	072-726-9923 (1件2000円)	365日24時間対応
	(つくば)	029-851-9999 (1件2000円)	365日9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。